

# 若手教員から見た 研究とリポジトリ

筑波大学人文社会系

朱 藝

2017年6月29日(木)

2017年度第1回機関リポジトリ新任担当者研修

# 発表内容

---

- ▶ 自己紹介
- ▶ 研究に対する考え
  - ▶ 変容する評価制度
  - ▶ 多様化する教職員
- ▶ 将来設計と研究
  - ▶ 日頃心がけていること
- ▶ 研究と大学のリポジトリ
  - ▶ 筑波大学リポジトリの概要
  - ▶ 利点
  - ▶ 検討して欲しい点
- ▶ 最後に

# 自己紹介

---

- ▶ 氏名: 朱 艺(藝) しゅ いい Zhu, Yi
  - ▶ 筑波大学人文社会系助教(任期付)
  - ▶ 専門: 経営人類学
  - ▶ 職歴: 九州大学→筑波大学(3年目)
  - ▶ 中国生まれ、日本・中国育ち
  - ▶ 香港にて博士号取得
- ⇒ 研究に対する考え

# 研究に対する考え

---

## 評価制度や属性に影響される

### ▶ 評価制度の変容

- ▶ 「数値」で評価される

### ▶ 多様化する教職員の属性

- ▶ 増える任期付・年俸制教職員

### ▶ 教育者？研究者？

- ▶ 我々は何のために研究・教育するのか？
- ▶ 大学の存在意義とは？

⇒事例をもとに、将来設計と研究の関連性をみていく

# 将来設計と研究

---

## ▶ 私の将来設計

- ▶ 現職の属性: 任期付・年俸制
- ▶ 仕事の国・地域にはこだわらない(れない)
- ▶ デジタル世界における認知度向上の必要性

## ▶ 日頃心がけていること

- ① 時間を有効に使う
- ② よい良い雑誌に多く投稿する
- ③ より生産性の高い共同研究を行う
- ④ 様々なチャンネルで情報発信をする

# 将来設計と研究

---

日頃心がけていること

## ① 時間を有効に使う

- ▶ できる限り「雑務」に使用する時間を減らす
- ▶ 空いている時間を集中的に使う
  - ▶ 締切との戦い
  - ▶ 長期休暇はあまり論文執筆に使えない
  - ▶ 教員と研究者の「切り替え」スイッチが必要

# 将来設計と研究

---

日頃心がけていること

## ② よい良い雑誌に多く投稿する

- ▶ 雑誌の「ランク」よりも出版の可能性を優先
  - ▶ 研究者ネットワークを通じた雑誌の選定
- ▶ 論文の言語：英文以外の価値が低い
  - ▶ 英文はある程度予算・時間が必要
- ▶ 論文のスタイル：分野によって異なる
  - ▶ 異分野への投稿はある程度の時間・労力が必要

# 将来設計と研究

---

日頃心がけていること

③ より生産性の高い共同研究を行う

▶ 互いに有益な関係の構築を目指す

▶ 意見を出し合い、議論を深める

▶ 出版や学会発表の増加を期待

▶ 試行錯誤のプロセス

▶ 日本の学術界におけるウチとソトの概念

▶ 言語の壁



# 将来設計と研究

---

日頃心がけていること

## ④ 様々なチャンネルで情報発信をする

### ▶ 現在使用している主なチャンネル

- a. 自分のウェブサイト (WordPress)
- b. Academia.edu
- c. 筑波大学のリポジトリ

### ▶ ありふれるチャンネルに困惑する

- ▶ Google Scholar, Research Gate, ...
- ▶ どのチャンネルが自分に有利なのか？

# 将来設計と研究

---

## まとめ

- ▶ 将来設計は研究に対する考え・行動を変える
  - ▶ 自分にあった戦略を考え、実施する
    - ▶ 仕事の効率を高める
    - ▶ 論文の質と量を増加させる
    - ▶ 研究者ネットワークの構築
    - ▶ リポジトリなどを通じた情報発信、など
- ⇒ユーザーとして見る大学のリポジトリとは？

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ (Tulips-R)

URL: <https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>

### ▶ 特徴 (上記ウェブサイトから)

1. 研究成果を無料で配信
2. 大学ブランド力の強化
3. 登録コンテンツのダウンロード件数を通知
  - ▶ 1ヶ月に1回
  - ▶ 内容: コンテンツタイトル、URL、閲覧回数、DL回数

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 始めたきっかけ

- ▶ TRIOSで出版業績を記入している際に「発見」
- ▶ TRIOS(研究者総覧): <http://trios.tsukuba.ac.jp/>

### ▶ 私が行っている手順

1. TRIOSにログイン
2. 機能一覧「研究業績」をクリック
3. 必要事項を記入
4. コンテンツをスキャン
5. ファイルをアップロードして、終了

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 利点

1. 研究者ネットワークにおける存在感を示す
  - ▶ TRIOSとの連携で、より業績が分かりやすい
  - ▶ さらなる情報の発信（「無料」の効果大）
2. 自分の研究成果を分析
  - ▶ コンテンツの統計を把握
  - ▶ 今後の研究に役立てることができる

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 検討をお願いしたい点

#### 1. リポジトリ検索の精度向上

- ▶ 詳細検索でないとなかなかヒットしない。例えば:
  - ▶ 「朱藝」で検索すると、6番目に出てくる(ZHUYiで)
  - ▶ 「朱藝」をクリックすると、13本中7本しか表示されない
  - ▶ ZHUYiで検索すると、他研究者の業績がヒットする

#### 2. DL用ファイル名とタイトル名の一致

- ▶ DL後、タイトルの変更が必要(Jstorなどでも同現象)

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 検討をお願いしたい点

#### 3. リポジトリと他リンクの連携

- ▶ リポジトリ⇒TRIOSのリンク(逆方向はあるが)
- ▶ 科学技術総合リンクセンター(J-Globe)とのリンク、など

#### 4. ビックデータの活用

- ▶ より客観的に自分の研究成果を分析できる
- ▶ 例えば...

# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 検討をお願いしたい点

#### 4. ビックデータの活用(続き)

- ① これまでの利用統計データ総覧
- ② コンテンツDLの国別や検索キーワードの傾向
- ③ キーワード別DL数の比較
  - ▶ 例えば、同じ企業に対する研究でも、national cultureとcreativityではDL件数が倍違うことも
- ④ 相似したテーマを研究する学者の「推薦」
  - ▶ J-Globeにて相似した機能を発見



# 研究と大学のリポジトリ

---

## 筑波大学リポジトリ

### ▶ 検討をお願いしたい点

5. 大学ならではの工夫を是非お願いしたい
  - ▶ 大学間の比較や共同研究の促進(国内・海外)
6. 説明会や意見交換の場を増やしてほしい
  - ▶ ビッグデータを活用したアドバイス
  - ▶ 関係者間の交流、など

# 最後に

---

- ▶ 各研究者の将来設計によって、研究に対する考えが異なる
- ▶ 研究に対する考えとリポジトリの使用は関連している
- ▶ デジタル世界での認知度は非常に重要
- ▶ 教員と大学の協働が必要不可欠

ご清聴ありがとうございました。